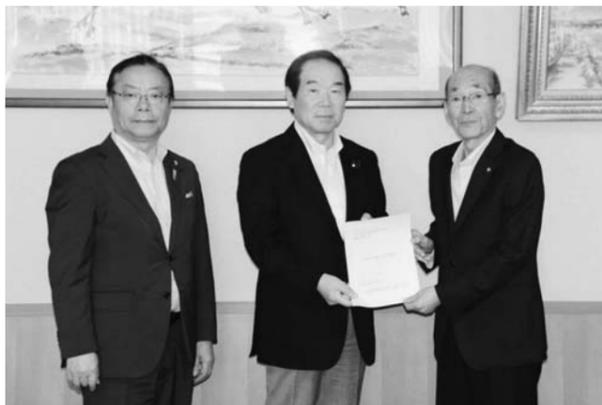


自民党東日本大震災復興加速化本部額賀本部長に要望書を提出しました

6月20日、浪江町役場において、町長が自民党東日本大震災復興加速化本部長の額賀志郎氏に「浪江町の復興に向けた要望書」を提出しました。

主な内容は、帰還困難区域に「特定復興再生拠点区域」を整備するに当たり、町の意向を最大限尊重した計画の認定、「大規模水素製造拠点」の造成に必要な財政支援、生鮮食品店・ドラッグストア・ホームセンターなど中型小売店の誘致等の早期実現の支援、「交流・情報発信拠点」の整備に必要な財政支援、平成30年4月開校予定の小・中学校や運動公園等の整備に対する支援などを求めたものです。



問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240



なみえの

あの店この店

ふるさとを離れ、ふるさとを想いながら避難先であらたにスタートした浪江町民や浪江町にゆかりのある企業・店舗の皆さんをご紹介します。

掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

すずらん美容室 代表 山田 千鶴

〒963-8032 福島県郡山市字下亀田15-51
(うねめ通り 郡山市医療介護病院近く)
TEL 070(2039)8787



問 住民課除染環境係 TEL 0240(34)0228

浪江町除染検証委員会が開催されました

6月19日、平成29年度浪江町除染検証委員会が開催されました。昨年度に引き続き4名の委員により検証委員会を進めていきます。

第1回の委員会では、平成28年度浪江町除染結果報告、十万山林野火災に伴う林野庁の動態調査、個別案件(酒田地区)の検証を行いました。

【浪江町除染検証委員会委員】 (敬称略)

氏名	所属、役職等
石田 順一郎	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 嘱託 ※福島県除染アドバイザー
井上 正	財団法人電力中央研究所 名誉研究アドバイザー ※福島県除染アドバイザー
塚田 祥文 (委員長)	福島大学 環境放射能研究所 副所長
床次 眞司 (副委員長)	弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 ※浪江町「避難指示解除に関する有識者検証委員会」委員

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

災害公営住宅への入居が始まりました

町内に整備が進められてきた災害公営住宅(名称:幾世橋住宅団地)が完成しました。

幾世橋住宅団地は、木造の一戸建て2LDKと3LDKがあり、全部で85棟の団地です。今回は第1期工事分として22戸が完成し、6月30日に行われた完成式では、入居者代表の岡沼完亮さんに町長から鍵の引渡しが行われ、同日から入居開始となりました。



問 住宅水道課住宅係 TEL 0240(34)0232

町内で営業を再開しました

とんかつ しが 代表 志賀 誠一

〒979-1521
浪江町大字権現堂字新町45-5
TEL 0240(34)3156

- 営業時間 11時から14時(予約不可)
火曜・水曜定休日
- 夜間は前日まで要予約。8名まで。
19時から21時まで対応(時間厳守)

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

原発事故による損害賠償でお困りの方へ ADRセンターが無料で和解仲介します

東京電力の提示金額に納得できない方など、どなたでも当センターをご利用頂けます。現在の申立て以外の損害についても、申立てが可能です。また、裁判よりも手続が簡便かつ無料※1で、ご本人様お一人でも申立てができます。証拠書類がない場合でも申立て可能であり、仲介手続の中で、センターの調査官が不明な点を丁寧にお伺いします。

手続が終了している20,433件のうち、8割強である16,845件※2が和解成立に至っています。

※1 送料等の実費は発生します。 ※2 平成29年6月末現在の件数です。

最近の和解事例

避難指示解除準備区域(浪江町)の会社に勤務していたが、原発事故により同社が休業となり退職を余儀なくされた申立人らについて、申立人らの勤続期間が30年以上であることや、勤務先の幹部社員といえること等の事情を考慮し、原発事故がなければ平成31年の定年まで勤務していた蓋然性が高いとして、早期退職により支払われた退職金と定年退職の場合に支払われる退職金との差額の5割が損害として賠償された事例(和解事例1191)。

※和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用される基準ではありません。

お問合せ先 原子力損害賠償紛争解決センター 無料電話 0120(377)155

町の農林水産業 再生に向けて

問 産業振興課農政係 0240(34)0245

共進会県代表選抜が 開催されました

浪江町南津島からいわき市に
避難し営農再開している古山優
太さんが全国和牛能力共進会福

島県代表選抜会に出品し、県代
表に選出されました。

9月7日から11日まで仙台市
の夢メッセみやぎで開催される
全国大会へ出場する予定です。

当日は全国銘柄牛の大試食会
等も予定されています。

一般の方も入場す
ることができま
すので、ぜひ会場まで足
をお運びください。



トルコギキョウの 出荷が始まりました

幾世橋のNPO法人Jinでは、平成26年度から東京の大田市場へ切り花を出荷しています。また、今年度からは、フラワースピリットN(※)とJinふるーるという二つの新ブランド名となりました。

昨年の11月より定植したトルコギキョウは最盛期を迎え、これから9月中旬にかけて順次出荷されます。

※フラワースピリットとは、長野県松本市にある農業法人。

特にトルコギキョウは日本有数の栽培技術を持っており、福島県下で行われた研修以降、Jinが継続的に品質向上のための指導を受け、今年度より出荷をする際に同社の名前を使用することが許可されています。



請戸川、高瀬川で 魚の調査捕獲を行いました

7月1日、町内における内水面漁業再生のため、室原川・高瀬川漁業協同組合による調査捕獲が行われました。組合ではこれまでも調査捕獲を実施していましたが、一度に15人という大人数で広範囲での実施は、今回が初めての取り組みとなります。

当日は、釣りにより両河川で約5kgの鮎を捕獲しました。

捕獲した魚は全て回収し、釣れた地点ごとにモニタリングを実施します。

故郷に息づいていた釣り文化の再生のため、組合では継続して河川や魚の調査を実施していきます。

※現在町内の河川での捕獲行為は禁止されています。絶対に捕獲行為をしないでください。



問 産業振興課農林水産係
TEL 0240(34)0246